Macintosh ドライバガイド

対応ソフトウェア
・プリンタドライバ Macintosh BJ Printer Driver

Canon

BUBBLE JET PRINTER

BJ M40 シリーズ

プリンタに付属しているソフトウェアの説明書です。必要なページを開いて印刷してお読みください。

V 01

はじめに

■動作環境

ハードウェア	USBインタフェースを標準搭載したMacintoshシリーズ
基本ソフトウェア	Mac OS 8.5.1以上（日本語版）/iMacのみMac OS 8.1以上
インタフェース	USB

iMacでMac OS 8.1を使用している方へ
プリンタドライバをインストールする前に、アップルコンピュータ株式会社が提供している「iMacアップデート 1.0」を入手して、必ずアップデートを完了してください。入手方法とアップデータのしかたは、アップルコンピュータ株式会社か、コンピュータ販売店にお問い合わせください。

Mac OS 9を使用している方へ
「マルチユーザ」機能をオンにしてお使いの場合は、次の点にご注意ください。
マルチユーザ環境でプリンタドライバおよびIS Scanアプリケーションソフトをインストールできるのは、[所有者]または[通常利用者]です。[制限付き利用者]または[パネル利用者]は、スキャナドライバのうち、TWAINドライバをインストールすることはできますが、IS Scanアプリケーションソフトおよびプリンタドライバをインストールすることはできません。
[制限付き利用者]または[パネル利用者]がTWAINドライバをインストールする方法、IS Scanを使用する方法については、スキャナドライバに付属している[お読みください]ファイルを参照してください。
[お読みください]ファイルを開くには、「プリンタドライバ／リファレンスガイド(CD-ROM)」をコンピュータのCD-ROMドライブにセットし、CD-ROMのフォルダ内にある[スキャナドライバ]フォルダをダブルクリックして、[お読みください]アイコンをダブルクリックしてください。

システムによっては出てくるメッセージや画面が一部異なることがあります。

商標について

説明書について

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更される場合があります。
- 本書は内容について万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載もれなどでお気づきの点がございましたら、お客様ご相談センターまでご連絡ください。
- このソフトウェアを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

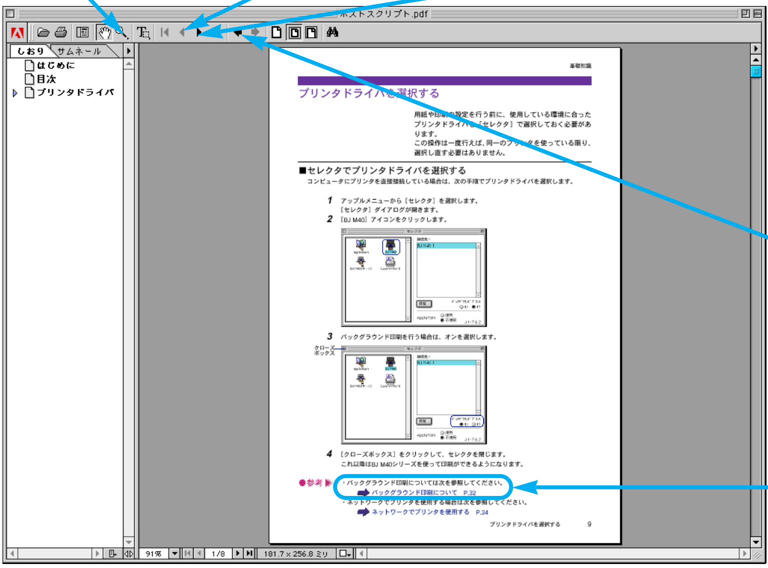
■このマニュアルの読みかた

このマニュアルは、Acrobat Reader4.05Jを使ってお読みになることをお勧めします。
Acrobat Reader3.0Jをお使いになる場合は、下の画面とはアイコンなどが異なります。

このボタンをクリックして画面内をクリックすると拡大します。

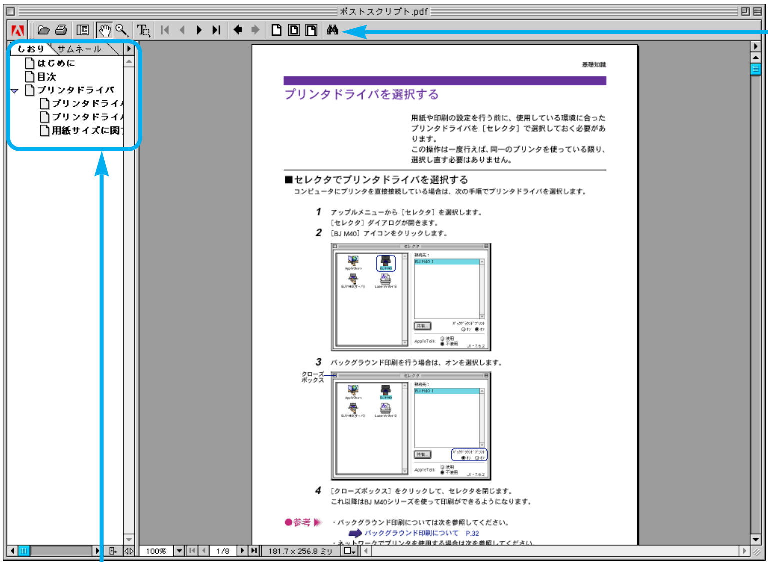
前ページへ戻ります。

次ページへ進みます。



直前に見ていた画面に戻ります。また、参照ページから戻るときにクリックします。

参照ページの画面が表示されます。
説明文書中にある青く書かれている項目をクリックすると、参照ページにジャンプします。

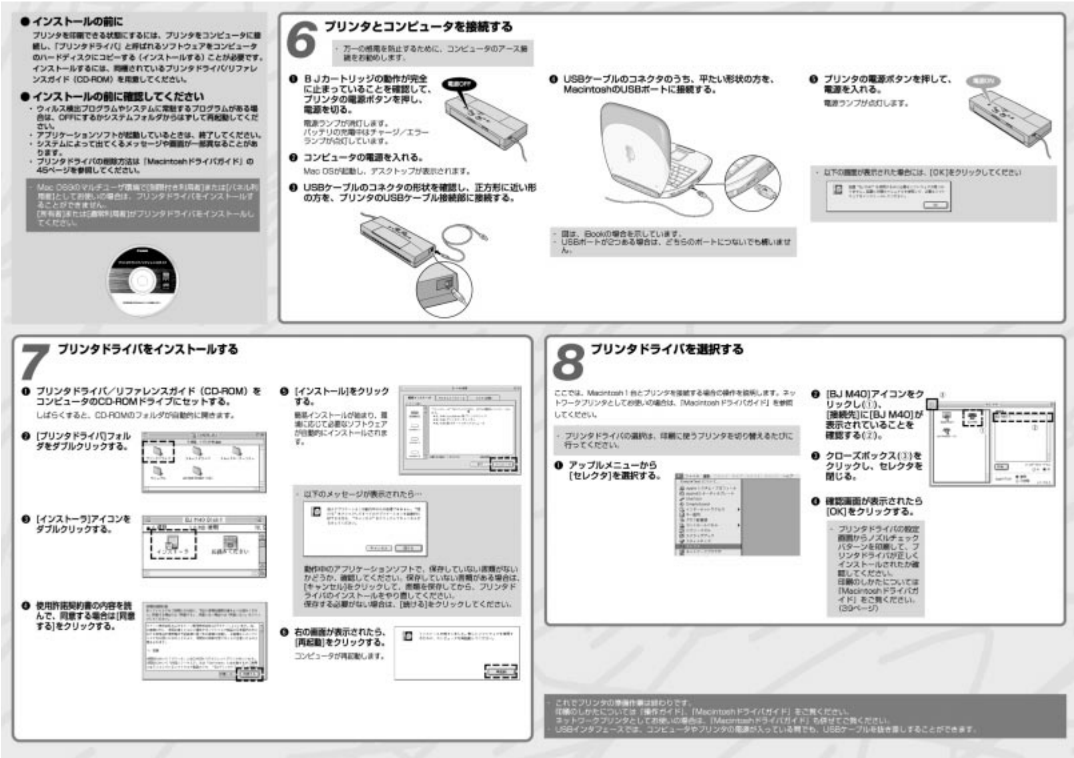


文字を検索したいときにクリックします。

このマニュアルの構成が表示されています。
参照したい項目をクリックすると、そのページにジャンプします。
[+]をクリックすると、その章の中で説明される項目のタイトルが表示されます。
[−]をクリックすると、元の表示に戻ります。

■ソフトウェアのインストールについて

本書を読む前に、ソフトウェアのインストールを正しい手順で行ってください。
インストール方法はかんたんスタートガイド（Macintosh）の裏面に書かれています。



目次

はじめに ……2

基礎知識

プリンタドライバの機能 ……7
プリンタドライバを選択する ……8
- セレクタでプリンタドライバを選択する ……8

用紙サイズに関する設定を行う（用紙設定ダイアログ）……9
- 用紙サイズと印刷方向を変更する ……9
- 非定型の用紙サイズを使用するとき ……10

基本的な印刷設定をする（プリントダイアログ）……11
- 印刷設定を行って印刷を開始する ……11
- 原稿データのプレビューを表示する ……13
- 原稿データをPICTファイルで保存する ……14

ヘルプの見かた ……15
- ヘルプのバルーン表示を行う ……15

応用テクニック

拡大/縮小印刷をする ……16
- 拡大縮小率を指定する ……16

割り付け印刷をする ……17
- 割り付け印刷の設定を行う ……17

印刷順序を変更する ……18
- 印刷順序を設定する ……18

好みの印刷設定をする ……19
- マニュアルで印刷設定を行う ……19

印刷の品質を調整する ……20
- 印刷品位とディザリングを変更する ……20

画像の補正を行う ……22
- フォトデータの色調を補正する ……22

画像に特殊効果を加える ……23
- イラストのような風合いに加工する ……23
- 単一の色で表現する ……24

色の調整を行う ……25
- 色の補正とバランス、濃度を設定する ……25

応用テクニック

好みの設定を登録する …… 27
印刷設定を登録する …… 27
登録した印刷設定を読み込む …… 28
不要になった印刷設定を削除する …… 29
バックグラウンド印刷について …… 30
バックグラウンド印刷とは …… 30
BJプリントモニタを表示する …… 30
BJプリントモニタのウィンドウを閉じる …… 30
BJプリントモニタの機能 …… 31
初期設定を変更する …… 32
インクが残り少なくなったときの表示 …… 32
ネットワーク上でプリンタを使用する …… 33
接続環境とインストールについて …… 33
プリンタドライバを選択する …… 34
プリントサーバーの状況を確認する …… 35

メンテナンス機能

プリントヘッドをクリーニングする …… 37
通常のクリーニングを実行する …… 37
ヘッドリフレッシングを実行する …… 38
テスト印刷をする …… 39
ノズルチェックパターン印刷を行う …… 39
インクタンクを交換する …… 40
ブラックインクを交換する …… 40
カラーインクを交換する …… 40
カラーインクとブラックインクを両方交換する …… 41
BJカートリッジを交換する …… 42
BJカートリッジを交換する …… 42
プリンタの電源を自動的にオフにする …… 43
自動電源オフの設定をする …… 43
特殊な設定を行う …… 44
インク残量警告を表示させる …… 44

付録

不要になったプリンタドライバを削除する …… 45
プリンタドライバを削除する …… 45
インストールされるプリンタドライバ関連ファイル …… 47

プリンタドライバの機能

プリンタドライバはBJ M40シリーズで印刷するときに必要なソフトウェアです。
プリンタドライバが正しくインストールされると、コンピュータが接続したプリンタを認識できるようになります。
印刷時には、原稿のデータをプリンタに理解できる形式に変換し、プリンタに送り出す働きをします。
プリンタドライバの機能を本書では３つに分類しています。各ページ右上に「基礎知識」、「応用テクニック」、「メンテナンス機能」の分類名を記載していますので、目的に合わせて必要な説明を参照してください。

印刷設定を行う··································→ 「基礎知識」 P.8〜P.15

プリンタドライバが正しくインストールされると、印刷はいつでも実行できます。しかし、印刷された結果は、原稿の種類、使用する用紙やBJカートリッジによって違いがあります。これらの条件に合わせて最適な印刷結果を得られるようにする操作が印刷設定です。
適正な印刷設定を行えば、印刷の品質や発色は向上します。印刷を実行する前にプリンタドライバの設定画面を開いて、基本的な印刷設定を行うようにしてください。最低限必要な情報は、「基礎知識」にまとめています。

特殊な機能を実行する··························→ 「応用テクニック」 P.16〜P.36

プリンタドライバの設定により、拡大/縮小印刷、割り付け印刷などの特殊な印刷を実行できます。また、写真などの画像データの色合いを補正して印刷することもできます。
印刷結果に満足がいかない場合は、色や品質に関する詳細な設定を行ってください。
なお、バックグラウンド印刷時はBJプリントモニタを使用して、印刷の進行状況やプリンタの状態を確認することができます。
また、プリンタをネットワーク上で使用することもできます。
これらの応用的な機能については「応用テクニック」にまとめています。

プリンタのメンテナンスを行う··············→ 「メンテナンス機能」 P.37〜P.44

プリントヘッドのクリーニングやテストプリント、電源に関する操作や設定を行う場合にも、プリンタドライバの設定画面を開いてください。アイコンをクリックすると、それぞれの機能をプリンタに実行させることができます。
これらの機能については「メンテナンス機能」にまとめています。

プリンタドライバを選択する

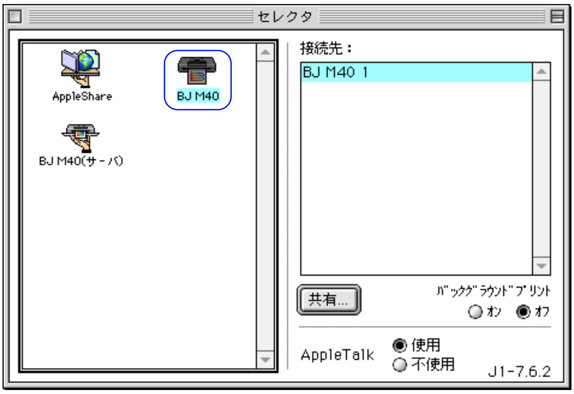
用紙や印刷の設定を行う前に、使用している環境に合ったプリンタドライバを［セレクタ］で選択しておく必要があります。
この操作は一度行えば、同一のプリンタを使っている限り、選択し直す必要はありません。

■セレクタでプリンタドライバを選択する

コンピュータにプリンタを直接接続している場合は、次の手順でプリンタドライバを選択します。

1 アップルメニューから［セレクタ］を選択します。
［セレクタ］ダイアログが開きます。

2 ［BJ M40］アイコンをクリックします。



3 バックグラウンド印刷を行う場合は、オンを選択します。



4 クローズボックスをクリックして、セレクタを閉じます。
これ以降はBJ M40シリーズを使って印刷ができるようになります。

5 確認の画面が表示されたら［OK］ボタンをクリックします。

●参考

・バックグラウンド印刷については次を参照してください。
バックグラウンド印刷について　P.30
・ネットワークでプリンタを使用する場合は次を参照してください。
ネットワーク上でプリンタを使用する　P.33

用紙サイズに関する設定を行う（用紙設定ダイアログ）

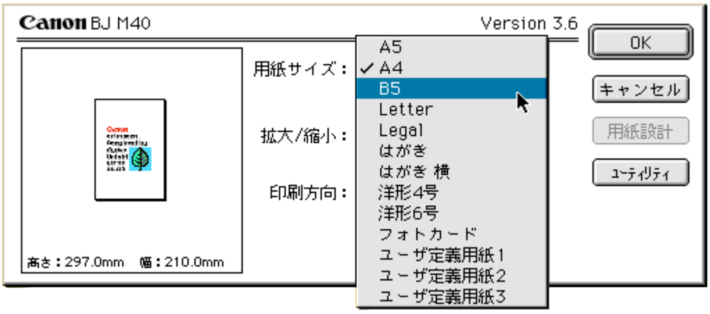
印刷に使用する用紙の大きさは、アプリケーションソフトで原稿作成時に選択するのが一般的です。
用紙設定ダイアログを開いて、プリンタにセットするものと同じになるように選択します。

■用紙サイズと印刷方向を変更する

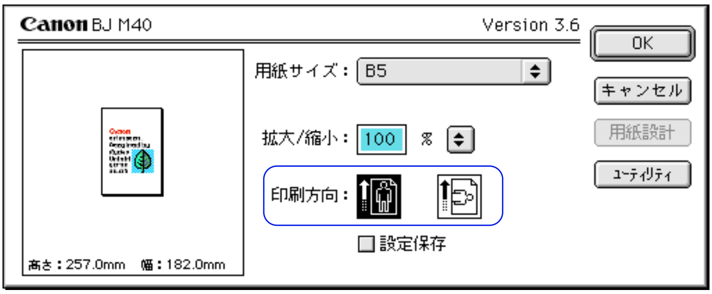
用紙設定ダイアログを開いて変更します。操作のしかたはアプリケーションソフトによって違いますが、ここでは一般的な手順を説明します。

1 アプリケーションソフトで用紙設定を実行するメニューを選択します。
一般的には［ファイル］メニューから［用紙設定...］をクリックして、用紙設定ダイアログを表示します。

2 ［用紙サイズ］を選択します。
一覧にない非定型の用紙サイズを使用する場合は、次項を参照してください。



3 ［印刷方向］を選択します。



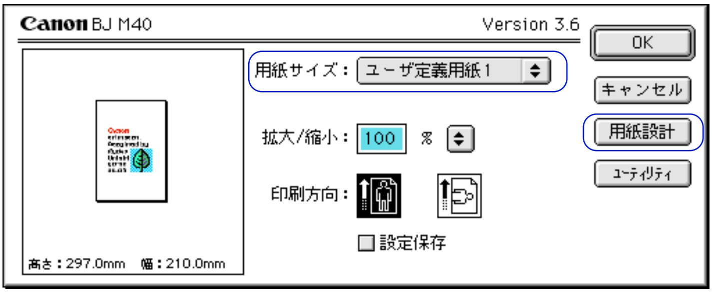
4 設定が終了したら［OK］ボタンをクリックします。
用紙設定ダイアログが閉じます。

■非定型の用紙サイズを使用するとき

A4、A5等の定型サイズではない用紙を使用する場合は、[ユーザ定義用紙] を選択します。

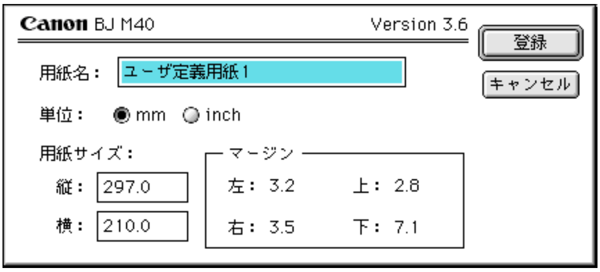
1 アプリケーションソフトで用紙設定を実行するメニューを選択します。
一般的には [ファイル] メニューから [用紙設定...] をクリックして、用紙設定ダイアログを表示します。

2 [用紙サイズ] で [ユーザ定義用紙 (1～3)] のどれかを選択し、[用紙設計] ボタンをクリックします。



用紙設計ダイアログが表示されます。

3 [用紙名] と [単位]、[縦]、[横] の長さの数値を設定、入力します



4 [登録] ボタンをクリックします。
用紙設計ダイアログが閉じて、指定した用紙名で用紙サイズが設定されます。

●参考

・ユーザ定義用紙は1～3まで登録できます。
・用紙設定ダイアログボックスで行った設定を、常に新規作成時のデフォルトの設定にしたい場合は [設定保存] のチェックボックスをオン (☑) にします。

基本的な印刷設定をする（プリントダイアログ）

印刷を開始する前に、基本的な印刷設定を行います。プリンタの状態（BJカートリッジ、用紙の種類、給紙方法）に設定を合わせ、原稿に適した印刷設定のアイコンを選ぶことで、きれいな印刷ができるようになります。

■印刷設定を行って印刷を開始する

［部数］、［ページ］、［BJカートリッジ］、［用紙の種類］、［給紙方法］、［印刷設定］を順に選択して、印刷を開始するまでの手順を説明します。

1 アプリケーションソフトで印刷を実行するメニューを選択します。
一般的には［ファイル］メニューから［プリント...］を選択して、プリントダイアログを表示します。

2 印刷したい部数を入力し、印刷するページを選択します。



●参考 ・特定のページを印刷したい場合は「から」の前後に、印刷開始ページと印刷終了ページを入力します。

3 ［BJカートリッジ］、［用紙の種類］を選択します。
をクリックすると一覧が表示されますので、プリンタの状態に合わせて選択します。



●参考 ・カラーで作成した原稿をモノクロで印刷したい場合は、［グレースケール印刷］のチェックボックスをオン（☑）にしてください。
・オートシートフィーダ（オプション）を装着している場合は、［給紙方法］で［オートシートフィーダ］を選択してください。

4 ［印刷設定］のアイコンを選択します。

「各アイコンの説明」を参照して、印刷する原稿のタイプに最も近いものを選択します。
［現在の設定］には選択されているアイコンの名称と、［印刷品位］、［ディザリング］、［色補正］の情報が表示されます。



各アイコンの説明

 **文　書**

文章中心の原稿や、標準的な品質で印刷するときにお勧めの設定です。

 **グラフィックス**

グラフや色の境界がはっきりしたコンピュータグラフィックスなどを印刷するときにお勧めの設定です。

 **写　真**

写真を最高品質で印刷するときの設定です。グラデーションを多用したグラフィックス原稿にも適しています。

 **マニュアル**

印刷品位、ディザリング、色補正などを好みの設定にしたいときに選択します。マニュアルで印刷設定を行う P.19

5 印刷を開始する場合は、［プリント］ボタンをクリックします。

●参考

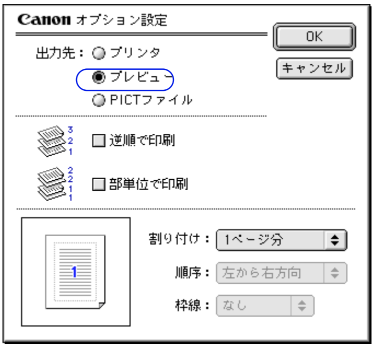
・BJカートリッジや用紙のセットのしかたは、操作ガイドを参照してください。

■原稿データのプレビューを表示する

［オプション］ボタンをクリックして出力先を［プレビュー］に変更すると、原稿データのプレビューを見ることができます。

1 プリントダイアログを開き、［オプション］ボタンをクリックします。
［オプション設定］ダイアログが表示されます。

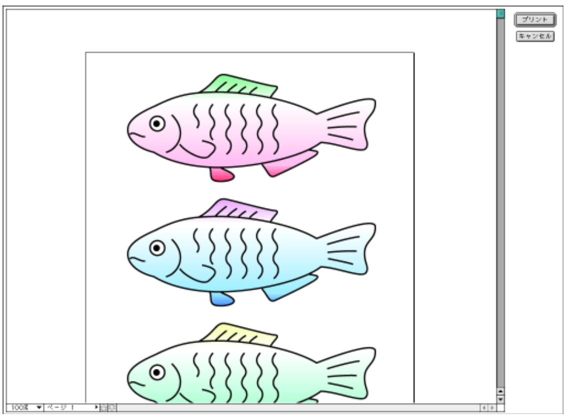
2 出力先で［プレビュー］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。



3 プリントダイアログで［プレビュー］ボタンをクリックします。



プレビュー画面が表示されます。



4 印刷を開始する場合は［プリント］ボタンをクリックします。印刷しないでプレビュー画面を閉じる場合は、［キャンセル］ボタンをクリックします。

■原稿データをPICTファイルで保存する

［オプション］ボタンをクリックして出力先を［PICTファイル］に変更すると、原稿データをPICT形式のファイルで保存できます。

1 プリントダイアログを開き、［オプション］ボタンをクリックします。
オプション設定ダイアログが表示されます。

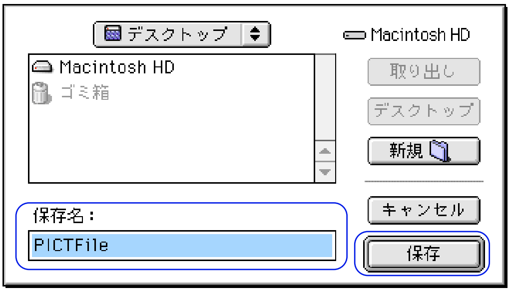
2 出力先で［PICTファイル］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。



3 プリントダイアログで［ファイル］ボタンをクリックします。



4 ［保存名］を入力し、［保存］ボタンをクリックします。



ファイルは新規に保存名と同名のフォルダを作り、その中に保存されます。

ヘルプの見かた

プリンタドライバには、たくさんの機能があります。ヘルプをバルーン表示する設定にしておくと、見たい項目にポインタを移動するだけで、簡単な説明を読むことができます。

■ヘルプのバルーン表示を行う

ヘルプのバルーン表示を行う場合は、[ヘルプ] メニューの [バルーン表示] を選択します。
この状態で説明を見たい項目にポインタを合わせます。

1. [ヘルプ] メニューから [バルーン表示] を選択します。
2. プリンタドライバの画面（[印刷設定] ダイアログ、[プリント] ダイアログ等）を表示します。
3. 説明を見たい項目にポインタを移動します。
   その機能の説明が表示されます。



●参考
・ヘルプのバルーン表示をやめたいときは、再度 [ヘルプ] メニューから [バルーンを隠す] を選択します。

拡大/縮小印刷をする

アプリケーションソフトで作成した原稿を、拡大または縮小して印刷します。

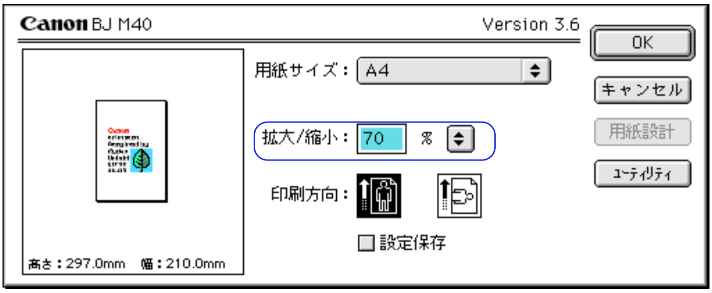
■拡大縮小率を指定する

［用紙設定］ダイアログで、拡大縮小率（%）で設定します。

1 用紙設定ダイアログを開きます。
一般的には、［ファイル］メニューから［用紙設定...］を選択すると開きます。

2 必要に応じて［用紙サイズ］、［印刷方向］を選択します。

3 ［拡大/縮小］を設定します。入力欄を選択して数値を入力するか、をクリックして数値を調整します。



4 設定が終了したら［OK］ボタンをクリックします。
用紙設定ダイアログが閉じます。

5 印刷を実行する場合は、プリントダイアログで［プリント］ボタンをクリックします。
プリントダイアログを開くには、［ファイル］メニューから［プリント...］を選択するのが一般的です。

●参考

・通常の印刷に戻したい場合は、100%に設定してください。

割り付け印刷をする

2ページ分または4ページ分の原稿を、1枚の用紙に納まるようレイアウトして印刷します。
見開きで全体のイメージを見たいときや、袋とじに仕上げるときに便利です。

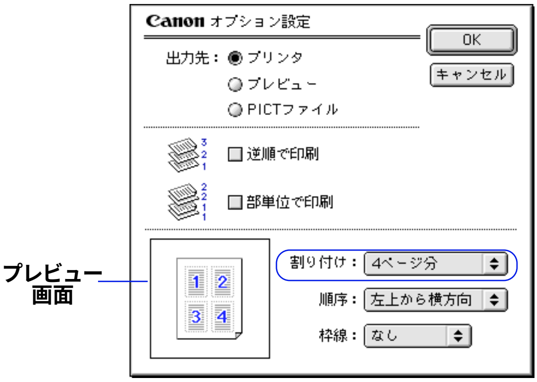
■割り付け印刷の設定を行う

プリントダイアログから［オプション設定］ダイアログを開いて設定します。

1 プリントダイアログを開きます。
一般的には、［ファイル］メニューから［プリント...］を選択すると開きます。

2 ［オプション］ボタンをクリックします。
［オプション設定］ダイアログが表示されます。

3 ［割り付け］で1枚の用紙に何ページ分印刷するかを選択します。
プレビュー画面で印刷イメージを確認できます。



4 必要に応じて、次の設定を行います。
［順序］…用紙に対してどのような順序で原稿を割り付けるか選択します。
［枠線］…［細線］か［太線］を選択すると、各ページのまわりに指定した太さの枠線を印刷します。

5 設定が終了したら［OK］ボタンをクリックします。
［オプション設定］ダイアログが閉じます。

6 印刷を実行する場合は、［プリント］ボタンをクリックします。

●参考 ・通常の印刷に戻したい場合は、［割り付け］で［1ページ分］を選択してください。

印刷順序を変更する

基本の設定では印刷順序は1ページ目から順番に印刷するようになっています。
同じ印刷データを複数部印刷するときは、印刷順序を部単位で逆順に設定しておくと、印刷後に並べ換える手間が省けます。

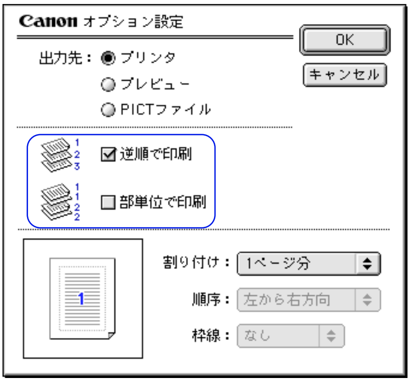
■印刷順序を設定する

印刷の順序は、［部単位で印刷］と［逆順で印刷］の設定のしかたによって変わります。
プリントダイアログから［オプション設定］ダイアログを開いて設定します。

1 プリントダイアログを開きます。
一般的には、［ファイル］メニューから［プリント...］を選択すると開きます。

2 ［オプション］ボタンをクリックします。
［オプション設定］ダイアログが表示されます。

3 必要に応じて、［逆順で印刷］と［部単位で印刷］の設定を行います。



［逆順で印刷］…… 複数のページを印刷するときの順序を設定します。
オン（☑）にすると、最終のページから印刷します。オフ（☐）にすると、先頭のページから印刷します。

［部単位で印刷］… 複数ページを複数部続けて印刷するときの順序を設定します。
オン（☑）にすると、1部ずつまとまるように印刷します。オフ（☐）にすると、同一ページごとにまとまるように印刷します。

4 設定が終了したら［OK］ボタンをクリックします。
［オプション設定］ダイアログが閉じます。

5 印刷を実行する場合は、［プリント］ボタンをクリックします。

好みの印刷設定をする

[印刷設定] でマニュアルを選択すると、印刷の品質や色に関する設定を好みに応じて調整できるようになります。一度設定しておけば、次回からは アイコンをクリックするだけでその設定内容になります。

■マニュアルで印刷設定を行う

プリントダイアログの [印刷設定] でマニュアル ( ) を選択すると、クオリティパネルと色設定パネルにある機能を選択できます。

1 プリントダイアログを開きます。
一般的には、[ファイル] メニューから [プリント...] を選択すると開きます。

2 [印刷設定] でマニュアル ( ) を選択します。

3 [詳細設定] ボタンをクリックします。
[詳細設定] ダイアログが表示されます。

4 設定したいパネルのアイコン ([クオリティ] [特殊効果] [カラー]) をクリックし、各機能を設定します。



機能の詳細は、次の説明を参照してください。

・クオリティパネル

[印刷品位]、[ディザリング] ➡ 印刷の品質を調整する P.20

[フォトデータ補正] ➡ 画像の補正を行う P.22

・特殊効果パネル ➡ 画像に特殊効果を加える P.23

・カラーパネル ➡ 色の調整を行う P.25

5 設定が終了したら [OK] ボタンをクリックしてプリントダイアログに戻ります。

6 印刷を行う場合は、[プリント] ボタンをクリックします。

●参考 ・次回以降、同じ印刷設定使用する場合は、プリントダイアログの [印刷設定] でマニュアル ( ) アイコンを選択してください。

印刷の品質を調整する

印刷結果の品質に満足できなかった場合は、印刷品位やディザリングの方式を変えて微調整することができます。ただし、印刷するデータ自体に問題がある場合は印刷品位を上げても、効果がわからない場合があります。

■印刷品位とディザリングを変更する

印刷の品質は、［印刷品位］と［ディザリング］の設定によって変わります。［印刷設定］で［マニュアル］アイコンを選択すると設定できます。

1. プリントダイアログを開きます。
   一般的には、［ファイル］メニューから［プリント...］を選択すると開きます。
2. ［印刷設定］でマニュアル（ ）を選択します。
3. ［詳細設定］ボタンをクリックします。
   ［詳細設定］ダイアログの［クオリティ］パネルが表示されます。
4. ［印刷品位］を設定します。
   スライドバーを右（高品位）にするほど、印刷の品質は上がり、印刷時間がかかります。
   スライドバーの位置によって、印字モードの表示が変わります。



印字モード

5 ［ディザリング］のいずれかのアイコンを選択します。
ディザリングは、吹き付けたインクの点（ドット）の配置のしかたを決定するもので、ハーフトーン（中間調）の表現方法が変わります。



［パターン］
異なる色のドットを一定の法則に従って並べます。
色の境界をくっきり見せたいグラフィックスやグラフに適しています。

［誤差拡散］
異なる色のドットをランダムに配置します。微妙なグラデーションが作り出せるため、写真などの自然画像に適しています。

6 ［OK］ボタンをクリックして、プリントダイアログに戻ります。
7 印刷を行う場合は、［プリント］ボタンをクリックします。

●参考

- ［ディザリング］の設定によっては、選択できない［印刷品位］があります。最高の品質で印刷する場合は、［誤差拡散］を選択してください。
- BJカートリッジの種類や、選択している用紙の種類などによって選択できない設定があります。その場合は、選択可能な範囲で調整することをお勧めします。

画像の補正を行う

フォトデータ補正を行うと、スキャナやデジタルカメラで取り込んだ画像データの色調を補正して印刷します。
色かぶりや露出の調整が原因で色合いが悪くなっている画像データに効果的です。

■フォトデータの色調を補正する

［詳細設定］ダイアログで、フォトデータ補正をオンにします。

1 プリントダイアログを開きます。
一般的には、［ファイル］メニューから［プリント...］を選択すると開きます。
2 ［印刷設定］でマニュアル（ ）を選択します。
3 ［詳細設定］ボタンをクリックします。
［詳細設定］ダイアログの［クオリティ］パネルが表示されます。
4 ［クオリティ］パネルで［フォトデータ補正］をオン（☑）にします。



5 必要に応じて、［ページ内一括］の設定をします。
オフ（□）にすると、ページ内にある複数の画像をひとつひとつ補正します。
オン（☑）にすると、ページ内にある複数の画像を一括して補正します。切り抜きや回転など、加工した画像データがある場合は、オンにしてください。
6 ［OK］ボタンをクリックして、プリントダイアログに戻ります。
7 印刷を行う場合は、［プリント］ボタンをクリックします。

画像に特殊効果を加える

画像データを加工して、オリジナルの輪郭や色に特殊な効果を与えます。画像データをイラストのような風合いに加工したり、単一色で表現したりできます。

■イラストのような風合いに加工する

［イラストタッチ］を使うと、写真などの画像データがイラストのような表現で印刷できます。

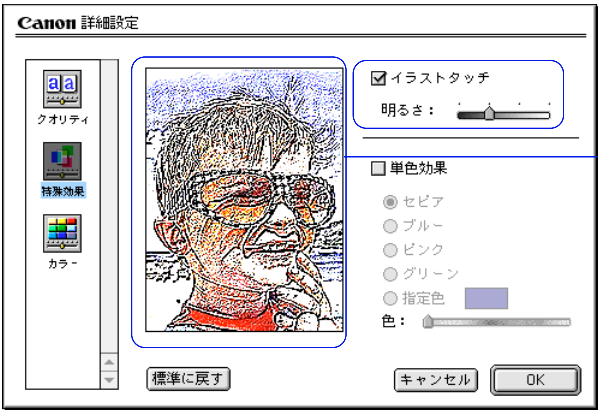
1 プリントダイアログを開きます。
一般的には、［ファイル］メニューから［プリント...］を選択すると開きます。

2 ［印刷設定］でマニュアル（ ）を選択します。

3 ［詳細設定］ボタンをクリックします。

4 ［特殊効果］アイコンをクリックして、［特殊効果］パネルを表示します。

5 ［特殊効果］パネルで［イラストタッチ］をオン（ ）にします。
プレビュー画面がイラストのように変わります。



プレビュー画面

6 必要に応じて［明るさ］のスライドバーをドラッグして、画像の明るさを調整します。

7 ［OK］ボタンをクリックして、プリントダイアログに戻ります。

8 印刷を実行する場合は、［プリント］ボタンをクリックします。

●参考

・［単色効果］と組み合わせて使用することができます。

■単一の色で表現する

［単色効果］を使うと、写真などの画像データを単一の色で印刷できます。

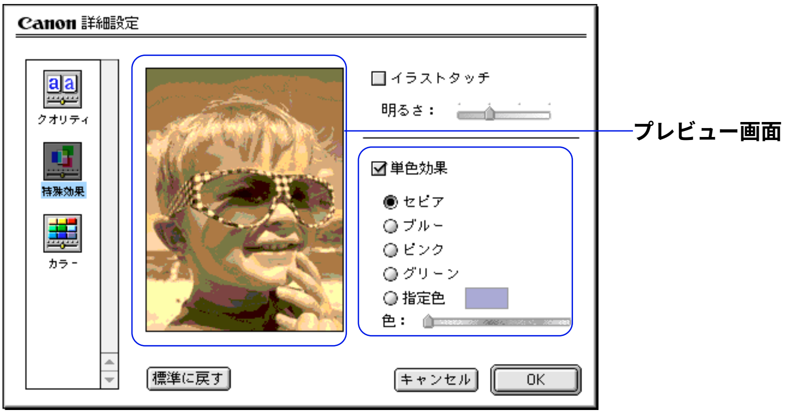
1 プリントダイアログを開きます。
一般的には、［ファイル］メニューから［プリント...］を選択すると開きます。

2 ［印刷設定］でマニュアル（ ）を選択します。

3 ［詳細設定］ボタンをクリックします。

4 ［特殊効果］アイコンをクリックして、［特殊効果］パネルを表示します。

5 ［特殊効果］パネルで［単色効果］をオン（ ）にします。
プレビュー画面が単色に変わります。



6 ［セピア］、［ブルー］、［ピンク］、［グリーン］、［指定色］から、好みの色を選んでクリックします。選択した色は、プレビュー画面で確認できます。［指定色］を選んだ場合は、必要に応じて［色］スライドバーをドラッグして、好みの色を選んでください。［指定色］の右側に選択した色が表示されます。

7 ［OK］ボタンをクリックして、プリントダイアログに戻ります。

8 印刷を実行する場合は、［プリント］ボタンをクリックします。

●参考

・［イラストタッチ］と組み合わせて使用することができます。
・［グレースケール印刷］がオン（ ）のときは選択できません。
・［BJカートリッジ］がブラックのときは選択できません。

色の調整を行う

印刷した色合いが思い通りにならなかった場合は、プリンタドライバで色補正をしたり、濃度を調整したりすることができます。画像編集のアプリケーションソフトなどのように印刷するデータ自体の色を補正するものではありません。あくまで微調整を行うものです。

■色の補正とバランス、濃度を設定する

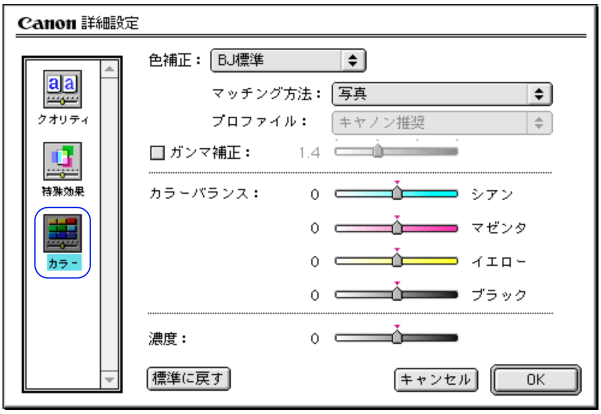
［印刷品位］で［マニュアル］アイコンを選択し、［カラー］アイコンを選択すると設定できます。

1 プリントダイアログを開きます。
一般的には、［ファイル］メニューから［プリント...］を選択すると開きます。

2 ［印刷設定］でマニュアル（）を選択します。

3 ［詳細設定］ボタンをクリックします。

4 ［カラー］アイコンをクリックして、カラーパネルを表示します。



5 必要に応じて各項目を設定します。

［色補正］

［BJ標準］…BJプリンタで印刷するのに最適な色補正を行います。通常はこれを選択してください。

［ColorSync］…ColorSyncによる色補正を行うときに選択します。

［なし］…色補正をしないときに選択します。

［マッチング方法］

色の表現方法を選択します。

［写真］…中間色を重視するときに選択します。

［グラフィックス］…原色を鮮やかにす表現るときに選択します。

［スポットカラー］…基本色を多く使った原稿を印刷するときに選択します。（［色補正］が［ColorSync］のときだけ選択できます）

[プロファイル]
[色補正] が [ColorSync] のときに選択できます。使用する色特性（プロファイル）を選択します。通常は [キヤノン推奨] を使用してください。[キヤノン推奨] はBJカートリッジや用紙の種類、印刷品位、ディザリングなどの設定に合った色特性を提供します。

[ガンマ補正]
ガンマ補正を行うと、完全な白と黒の間にある中間色のコントラストを調整できます。チェックボックスをオン（☑）にして、スライドバーを左右に移動させて調整します。
右にいくほど全体を暗く調整し、明るい部分のコントラストを強く、暗い部分のコントラストは弱く表現します。
ガンマ補正を行わない場合は、チェックボックスをオフ（☐）にしてください。

[カラーバランス]
シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの各色ごとに色の強弱を設定します。
各色のスライドバーを左右にドラッグして調整します。たとえば、青味が強いと感じる場合は、シアンのスライドバーをマイナス方向（左）に、弱いと感じる場合はプラス方向（右）にドラッグします。調整後は4色のインクのバランスが変わりますので、全体の色相も変わります。あくまで微調整に留めてください。

[濃度]
スライドバーを左右にドラッグして、濃淡を調整します。右にいくほど濃く、左にいくほど薄くなります。

6 設定が終了したら [OK] ボタンをクリックして、プリントダイアログに戻ります。
7 印刷を行う場合は、[プリント] ボタンをクリックします。

●参考

- [色補正] で [なし] を選択した場合は、[マッチング方法]、[プロファイル]、[ガンマ補正] を設定することはできません。
- [BJカートリッジ] が [ブラック]、あるいは [グレースケール印刷] を選択したときは、[カラーバランス] を設定することはできません。
- [プロファイル] で [キヤノン推奨] を選択した場合は、[マッチング方法] を設定することはできません。
- システムにColorSyncがインストールされていない場合もしくはインストールされていても機能がオフになっている場合は、[色補正] の [ColorSync] を選択することはできません。

好みの設定を登録する

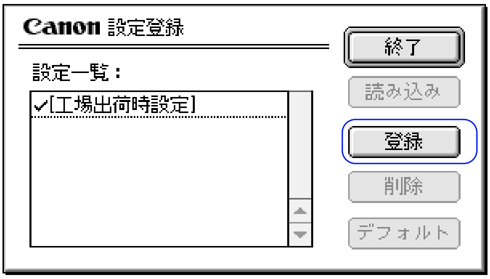
プリントダイアログの設定内容（BJカートリッジ、用紙の種類、グレースケール印刷、印刷設定）に名前をつけて登録しておくことができます。よく使用する設定はデフォルトの設定にしておくことが可能です。
ここでは、登録や削除のしかた、呼び出しかたについて説明します。

■印刷設定を登録する

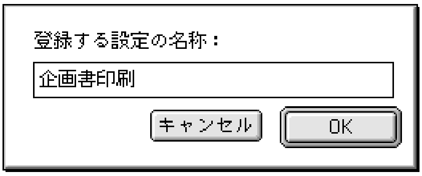
プリントダイアログで設定した内容に名称をつけて登録しておくことができます。

1 プリントダイアログで設定を行い、[設定登録］ボタンをクリックします。
[設定登録］ダイアログが開きます。

2 [登録］ボタンをクリックします。



3 名称を入力します。



[設定登録］ダイアログに戻ります。

4 [終了］ボタンをクリックします。
プリントダイアログに戻ります。

●参考

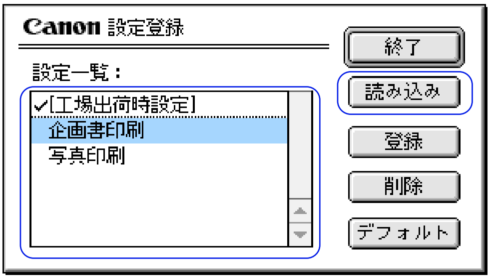
・すでに登録されている印刷設定と同じ名称で登録（上書き）することはできません。別の名称で登録するか、同じ名称の印刷設定を削除してから登録してください。

■登録した印刷設定を読み込む

登録した印刷設定を読み込んで、プリントダイアログの設定にします。

1 プリントダイアログを開き、［設定登録］ボタンをクリックします。
［設定登録］ダイアログが開きます。

2 読み込みたい印刷設定の名称をクリックし、［読み込み］ボタンをクリックします。



3 ［終了］ボタンをクリックします。
プリントダイアログに戻ります。

●参考

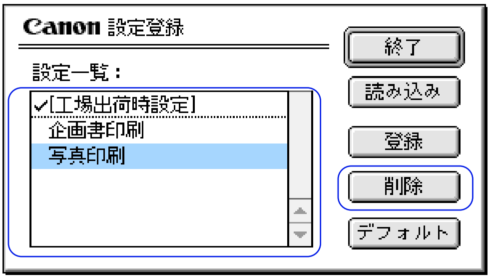
・登録した印刷設定をデフォルトの印刷設定（プリントダイアログが開いたときに、常に選択されている状態）にしたい場合は、［設定登録］ダイアログで登録した名称を選択し、［デフォルト］ボタンをクリックします。確認メッセージが表示されたら［OK］をクリックします。名称にチェックマークが付いたら、その印刷設定がデフォルトになったことを示します。

■不要になった印刷設定を削除する

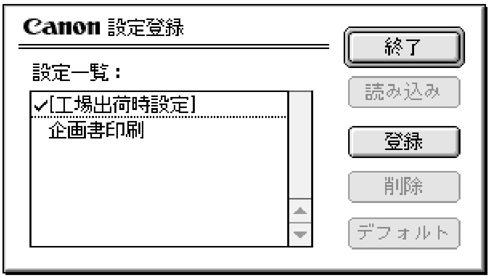
登録した印刷設定が不要になった場合、また同じ名称で別の設定内容を登録したい場合は、次の手順で削除します。

1 プリントダイアログを開き、[設定登録] ボタンをクリックします。
[設定登録] ダイアログが開きます。

2 削除したい印刷設定の名称をクリックし、[削除] ボタンをクリックします。



3 確認のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。
選択した印刷設定の名称が削除されます。



4 [終了] ボタンをクリックします。
プリントダイアログに戻ります。

●参考

- [工場出荷時設定]は削除できません。
- 一度削除したら、元に戻すことはできません。再度、印刷設定をして登録してください。

バックグラウンド印刷について

［セレクタ］でバックグラウンド印刷を行う設定になっていると、BJプリントモニタを開いて、印刷の進行状況を確認したり、印刷を中止できます。
また、印刷待ちになっている書類の印刷順序を変えることもできます。

■バックグラウンド印刷とは

印刷実行中に別の作業を並行して行えるような印刷処理方法をバックグラウンド印刷といいます。
バックグラウンド印刷を行うには、アップルメニューから［セレクタ］を選択して、プリンタドライバを選択したあと、［バックグラウンドプリント］をオン（☑）にします（➡プリンタドライバを選択する P.8）。
バックグラウンド印刷時は、BJプリントモニタを起動し、進行状況の確認、印刷の中止などを行うことができます。

■BJプリントモニタを表示する

印刷を実行すると自動的に起動します。アプリケーションメニューから［BJプリンタモニタ］を選択するとウィンドウが表示され、印刷中、印刷待ちの文書の進行状況を確認することができます。



■BJプリントモニタのウィンドウを閉じる

［ファイル］メニューから［ステータスウィンドウを閉じる］を選択するとBJプリントモニタのウィンドウは閉じます。また、ウィンドウ左上部のクローズボックスをクリックしても、ウィンドウは閉じます。



■BJプリントモニタの機能

BJプリントモニタには、現在印刷中の書類と、印刷待ちの書類の情報が一覧で表示されます。
印刷待ちの書類情報は書類名、ページ数、部数、印刷を受付けた時刻です。最下欄には印刷待ち書類の総数が表示されます。



操作ボタンの機能

…印刷を一時停止または再開（ ）します。
…指定した書類の印刷だけを一時停止します。
… で一時停止した書類の印刷を再開します。
…指定した書類の印刷を中止し、一覧から削除します。

現在印刷中の書類について情報を表示します。
左端のアイコンは印刷が進むにつれて、上部から黒くなります。

印刷待ちの書類について情報を表示します。

BJプリントモニタでは次のような作業を行うことができます。

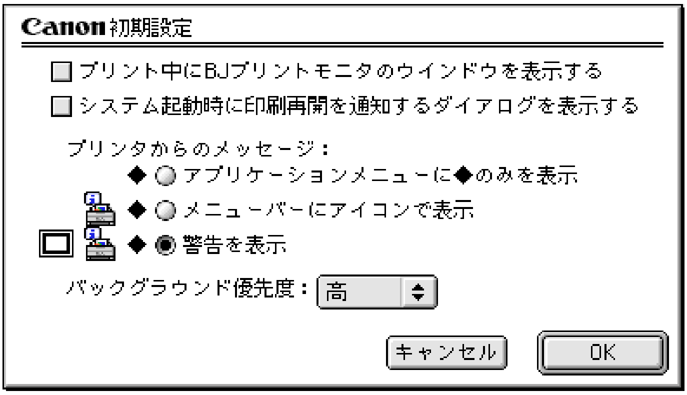
- **印刷待ちの書類の順番を変える**
  順番を変えたい書類名にマウスポインタを合わせ、移動したい位置までマウスのボタンを押したままドラッグします。移動したい位置でボタンを離すと移動します。
  印刷中の文書の処理を中断して、印刷待ちの文書と入れ替えることもできます。
- **印刷を中止する**
  印刷を中止したい書類名をクリックして、 アイコンをクリックします。選択した書類が一覧から削除されます。
- **印刷を一時停止/再開する**
  印刷を一時停止したい書類名をクリックして、 アイコンをクリックします。印刷を再開するときは、 アイコンをクリックします。

■初期設定を変更する

BJプリントモニタのウィンドウや通知ダイアログ、メッセージの表示のしかたを設定することができます。

1 ［ファイル］メニューから［プリント処理中断］を選択します。
印刷が中断します。

2 ［ファイル］メニューから［初期設定］を選択します。
［初期設定］ダイアログが表示されます。



3 必要に応じて、設定を変更します。
［プリント中にBJプリントモニタのウィンドウを表示する］
BJプリントモニタの表示方法を選択します。
［システム起動時に印刷再開を通知するダイアログを表示する］
システム起動時の印刷再開の設定を選択します。
［プリンタからのメッセージ］
バックグラウンド印刷中に問題が起こったときの通知方法を次の中から選択します。
［アプリケーションメニューに◆のみを表示］
［メニューバーにアイコンで表示］
［警告を表示］
［バックグラウンド優先度］
をクリックし、他の処理に対するバックグラウンド印刷の優先度を［高］［中］「低」のいずれかを選択します。

4 ［OK］ボタンをクリックします。

■インクが残り少なくなったときの表示

インクの残りが少なくなると、BJプリントモニタにインク残量を警告するアイコンが表示されます。アイコンの種類によってエラーの状況を確認し、必要な処理を行ってください。
警告アイコンの意味は次のとおりです。

…カラー／フォトが残り少ない　　…ブラックが残り少ない

●参考

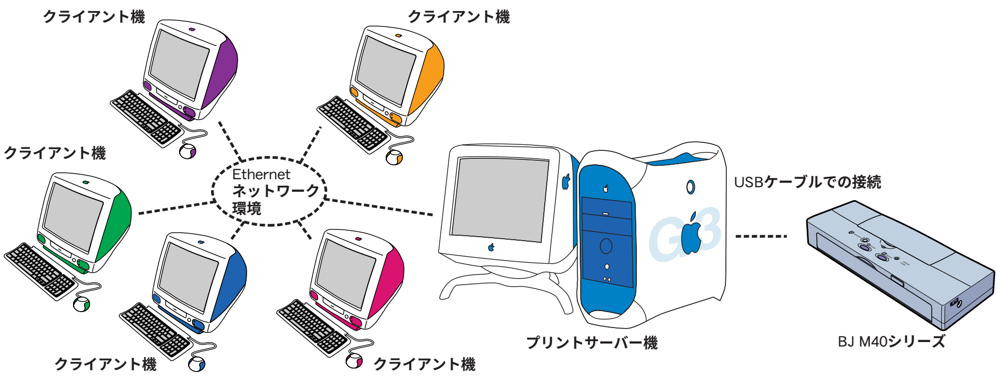
・インク残量警告機能を使用したいときは、［プリンタユーティリティ］ダイアログの［特殊設定］パネルで、［インク残量警告］をオン（☑）にしてください。オンの状態でインクタンク（インクカートリッジ）を交換するときは、［プリンタユーティリティ］ダイアログの［インクタンク交換］画面から操作を行ってください。なお操作パネルを使ってオンにした場合、操作パネルを使って交換作業を行ってください。

ネットワーク上でプリンタを使用する

BJ M40シリーズはEthernetネットワーク環境で使用することができます。ネットワークに接続されているすべてのコンピュータでプリンタを使用するためには、各コンピュータでプリンタドライバを選択しておく必要があります。

■接続環境とインストールについて

- Ethernetによるネットワーク環境で使用できます。
- プリンタを使用するすべてのコンピュータにプリンタドライバをインストールしてください（『かんたんスタートガイド』参照）。
- プリンタはプリントサーバー機として使用するコンピュータにUSBインタフェースケーブルで接続してください。プリントサーバー機とクライアント機では、選択するプリンタドライバや印刷状況を確認するツールが異なります。次の接続例を参考にしてください。



プリントサーバー機

USBインタフェースケーブルで直接プリンタを接続するコンピュータのことです。
プリントサーバー機では［BJ M40］というプリンタドライバを選択します。
プリントサーバー機からは、直接BJプリントモニタで、プリンタの状況を確認できます。

クライアント機

Ethernetでプリントサーバー機と接続されている各コンピュータのことです。
クライアント機からは［BJ M40（サーバ）］というプリンタドライバを選択します。
印刷を実行すると、データはプリントサーバー機を経由してプリンタに送られます。クライアント機からは、BJプリントモニタを起動できませんが、BJステータスモニタを起動してプリントサーバー機の印刷状況を確認することができます。

■プリンタドライバを選択する

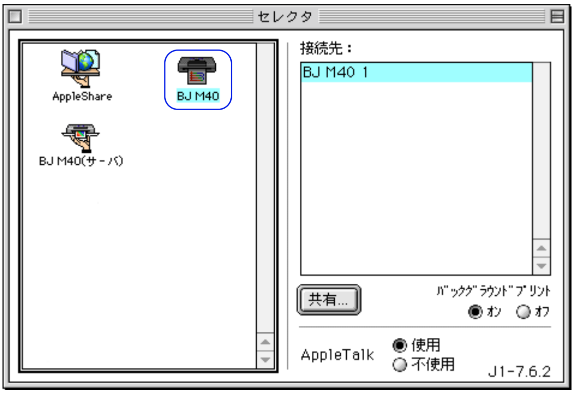
ネットワーク上でプリンタを使用する場合は、それぞれのコンピュータで正しいプリンタドライバを選択する必要があります。はじめにプリントサーバー機の設定を行い、続いて各クライアント機で設定を行います。

●プリントサーバー機の設定

1 アップルメニューから［セレクタ］を選択します。

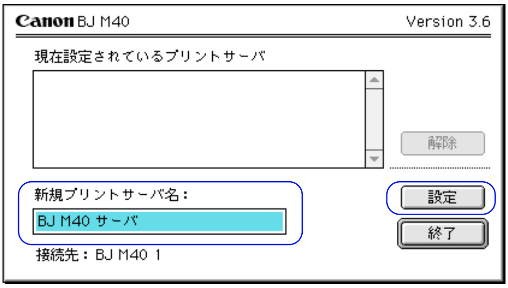
2 AppleTalkが［使用］になっていることを確認します。

3 ［BJ M40］アイコンを選択し、［接続先］でプリンタの名称を選択します。



4 ［共有...］ボタンをクリックします。

5 ［新規プリントサーバ名］が［BJ M40サーバ］になっていることを確認し、［設定］ボタンをクリックします。



6 ［現在設定されているプリントサーバ］に新規プリントサーバー名が追加されたことを確認し、［終了］ボタンをクリックします。

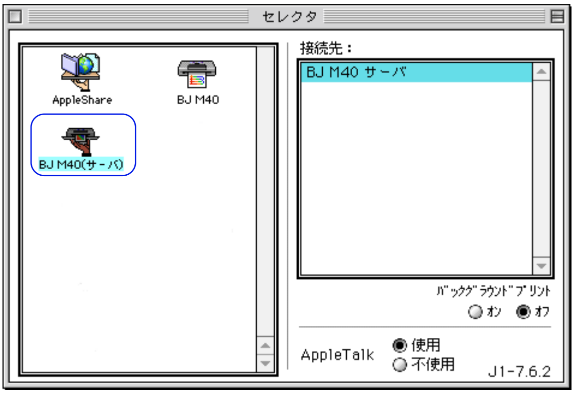
7 クローズボックスをクリックして、セレクタを閉じます。

●クライアント機の設定

1 アップルメニューから［セレクタ］を選択します。

2 AppleTalkが［使用］になっていることを確認します。

3 ［BJ M40（サーバ）］アイコンを選択し、［接続先］でプリントサーバー名称を選択します。



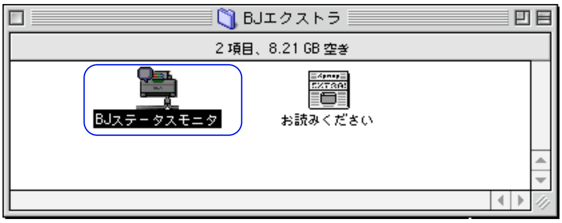
4 クローズボックスをクリックして、セレクタを閉じます。

■プリントサーバーの状況を確認する

クライアント機でプリントサーバー機の印刷状況を確認したい場合は、BJステータスモニタを起動します。

●BJステータスモニタを起動する

［BJエクストラ］フォルダの［BJステータスモニタ］アイコンをダブルクリックします。



●BJステータスモニタを終了する

［ファイル］メニューから［終了］を選択するとBJステータスモニタは終了します。
また、ウインドウ左上のクローズボックスをクリックしても、BJステータスモニタを終了させることができます。

●BJステータスモニタの機能

BJステータスモニタでは、プリントサーバー機の印刷処理状況を確認できます。
印刷中の書類と、印刷待ちの書類の情報が一覧で表示されます。印刷待ちの書類情報は書類名、ページ数、部数、印刷を受付けた時刻です。最下欄には印刷待ち書類の総数が表示されます。



操作ボタンの機能

…指定した書類の印刷だけを一時停止します。

…　で一時停止した書類の印刷を再開します。

…指定した書類の印刷を中止し、一覧から削除します。

現在印刷中の書類について情報を表示します。
左端のアイコンは印刷が進むにつれて、上部から黒くなります。

印刷待ちの書類について情報を表示します。

BJステータスモニタでは次のような作業を行うことができますが、操作しているクライアント機の所有者と対象となる書類の所有者が一致していなければなりません。書類名をダブルクリックすると、所有者を確認できます。

- **印刷を中止する**
  印刷を中止したい書類名をクリックして、　アイコンをクリックします。選択した書類が一覧から削除されます。
- **印刷を一時停止/再開する**
  印刷を一時停止したい書類名をクリックして、　アイコンをクリックします。印刷を再開するときは、　アイコンをクリックします。

●参考

- コンピュータの所有者については、コントロールパネルの[ファイル共有]を選択し、[所有者の名前]で確認できます。
- プリントサーバー機を複数台使用している場合は、BJステータスモニタの表示を切替えることができます。[ファイル]メニューで[プリントサーバ選択]を選択し、[プリントサーバ]で目的のプリントサーバー機を選択して[OK]ボタンをクリックします。

プリントヘッドをクリーニングする

印刷がかすれたり、特定の色が出なくなったときは、プリントヘッドのノズルが詰まっている可能性があります。クリーニングを行うと、プリントヘッドのノズルの状態が改善します。
2種類のクリーニングがありますので、状況によって使い分けてください。

■通常のクリーニングを実行する

1 用紙設定ダイアログを開きます。
一般的には、[ファイル] メニューから [用紙設定...] を選択すると開きます。

2 [ユーティリティ] ボタンをクリックします。

3 [クリーニング] が選択されているのを確認して、アイコンをクリックします。



4 プリンタの電源が入っていることを確認して、[OK] ボタンをクリックします。
クリーニングが開始されます。

●参考

- クリーニングを行うタイミングについては、操作ガイドを参照してください。
- プリントヘッドの状態が改善したかどうか確認するには、ノズルチェックパターンの印刷を行ってください。

テスト印刷をする　P.39

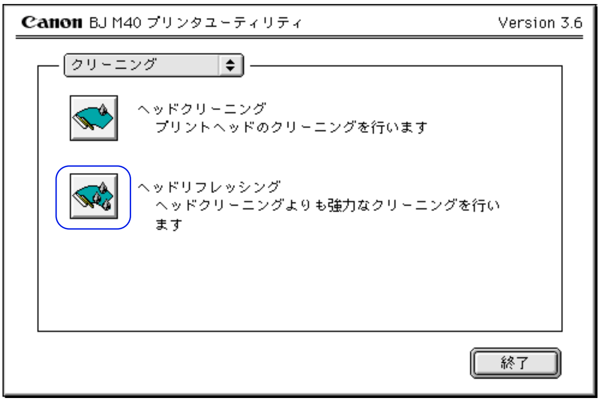
■ヘッドリフレッシングを実行する

ヘッドリフレッシングはより強力なクリーニングを行います。

1 用紙設定ダイアログを開きます。
一般的には、［ファイル］メニューから［用紙設定...］を選択すると開きます。

2 ［ユーティリティ］ボタンをクリックします。

3 ［クリーニング］が選択されているのを確認して、アイコンをクリックします。



4 プリンタの電源が入っていることを確認して、［OK］ボタンをクリックします。
ヘッドリフレッシングが開始されます。

●参考

・ヘッドリフレッシングを行うタイミングについては、操作ガイドを参照してください。
・プリントヘッドの状態が改善したかどうか確認するには、ノズルチェックパターンの印刷を行ってください。

テスト印刷をする　P.39

テスト印刷をする

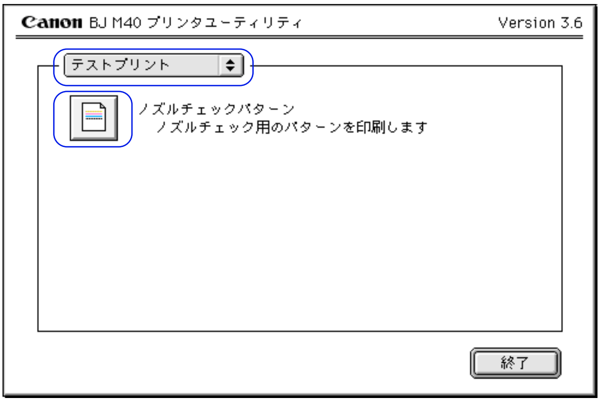
ノズルチェックパターンは、テストプリントの一種で、プリントヘッドのノズルから正常にインクが出ているかどうかを確認できます。
印刷結果の状態が悪いとき、またはクリーニングの後などに、印刷してプリントヘッドの状態を確認してください。

■ノズルチェックパターン印刷を行う

1 用紙設定ダイアログを開きます。
一般的には、［ファイル］メニューから［用紙設定...］を選択すると開きます。

2 ［ユーティリティ］ボタンをクリックします。

3 ［テストプリント］を選択し、アイコンをクリックします。



用紙がプリンタにセットされていることを確認してください。

4 プリンタの電源が入っていることを確認して、［OK］ボタンをクリックします。
ノズルチェックパターンが印刷されます。

●参考

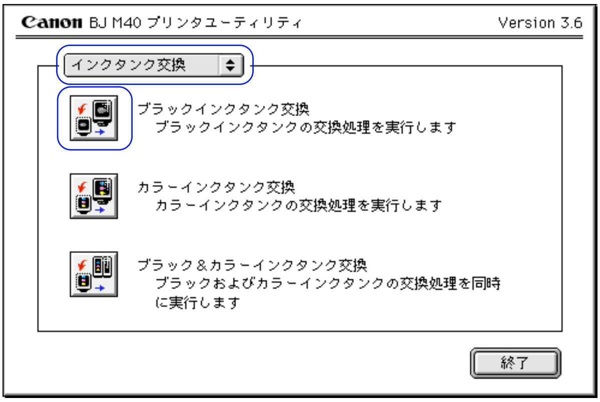
・印刷されたパターンの見かたは、操作ガイドを参照してください。
・クリーニングを繰り返しても、ノズルチェックパターンの状態がよくならない場合は、BJカートリッジのプリントヘッドが消耗している可能性があります。新しいBJカートリッジに交換してください。交換のしかたは操作ガイドを参照してください。

インクタンクを交換する

BJカートリッジやカラー／フォトBJカートリッジを新しいインクタンク（インクカートリッジ）に交換するときは、ユーティリティシートを開いて交換するインクを選択します。

■ブラックインクを交換する

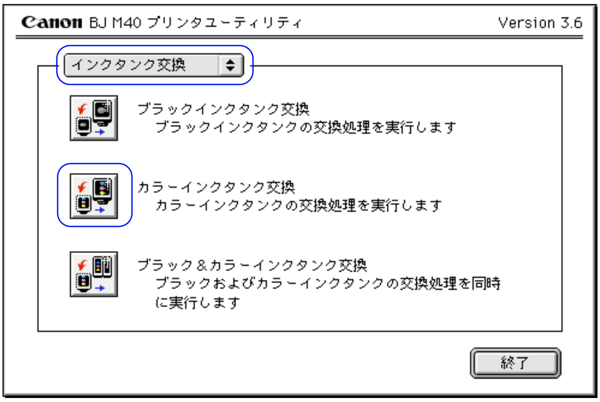
1 用紙設定ダイアログを開きます。
一般的には、［ファイル］メニューから［用紙設定...］を選択すると開きます。
2 ［ユーティリティ］ボタンをクリックします。
3 ［インクタンク交換］を選択し、アイコンをクリックします。



4 確認のメッセージが表示されたら［OK］ボタンをクリックします。
カートリッジホルダが交換位置に移動します。
5 ブラックインクを交換します。
インクタンク交換のしかたは、操作ガイドを参照してください。
6 本体のカートリッジボタンを押します。
交換が終了します。

■カラーインクを交換する

1 用紙設定ダイアログを開きます。
一般的には、［ファイル］メニューから［用紙設定...］を選択すると開きます。
2 ［ユーティリティ］ボタンをクリックします。
3 ［インクタンク交換］を選択し、アイコンをクリックします。



4 確認のメッセージが表示されたら［OK］ボタンをクリックします。
カートリッジホルダが交換位置に移動します。

5 カラーインクを交換します。
インクタンク交換のしかたは、操作ガイドを参照してください。

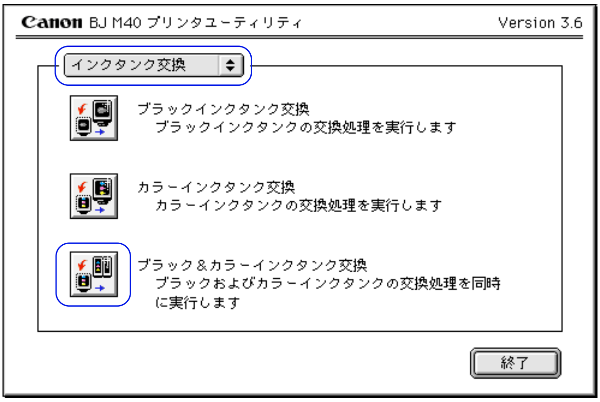
6 本体のカートリッジボタンを押します。
交換が終了します。

■カラーインクとブラックインクを両方交換する

1 用紙設定ダイアログを開きます。
一般的には、［ファイル］メニューから［用紙設定...］を選択すると開きます。

2 ［ユーティリティ］ボタンをクリックします。

3 ［インクタンク交換］を選択し、アイコンをクリックします。



4 確認のメッセージが表示されたら［OK］ボタンをクリックします。
カートリッジホルダが交換位置に移動します。

5 カラーインクとブラックインクを交換します。
インクタンク交換のしかたは、操作ガイドを参照してください。

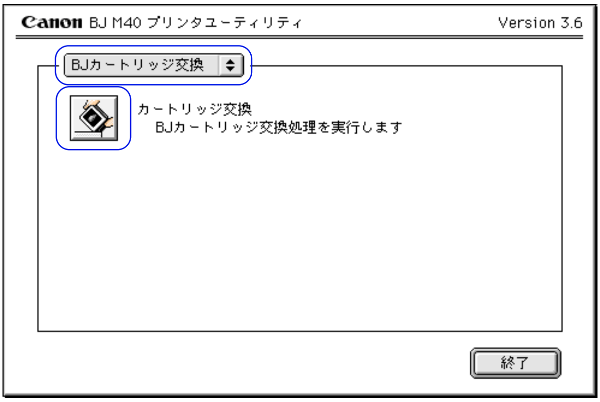
6 本体のカートリッジボタンを押します。
交換が終了します。

BJカートリッジを交換する

BJカートリッジを交換するときは、ユーティリティーシートを開いて次の操作を行います。

■BJカートリッジを交換する

1. 用紙設定ダイアログを開きます。
   一般的には、[ファイル] メニューから [用紙設定...] を選択すると開きます。
2. [ユーティリティ] ボタンをクリックします。
3. [BJカートリッジ交換] を選択し、アイコンをクリックします。



4. 確認のメッセージが表示されたら [OK] ボタンをクリックします。
   カートリッジホルダが交換位置に移動します。
5. BJカートリッジを交換します。
   BJカートリッジの交換のしかたは、操作ガイドを参照してください。
6. 本体のカートリッジボタンを押します。
   交換が終了します。

プリンタの電源を自動的にオフにする

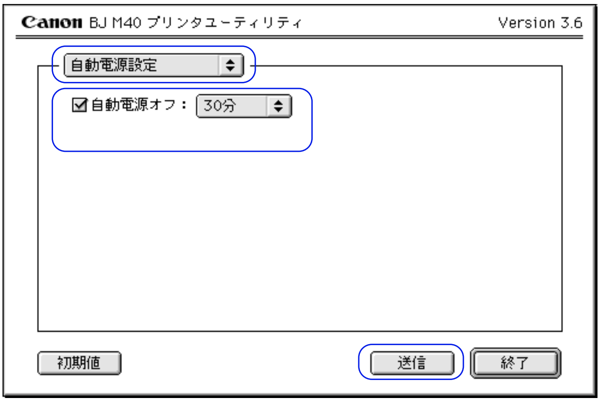
データが送られてこないときに自動的に電源を切るまでの時間を変更したり、自動電源オフさせないように設定することができます。

■自動電源オフの設定をする

1 用紙設定ダイアログを開きます。
一般的には、［ファイル］メニューから［用紙設定...］を選択すると開きます。

2 ［ユーティリティ］ボタンをクリックします。

3 ［自動電源設定］を選択し、設定を行います。



［自動電源オフ］…チェックボックスをオン（☑）にして、特定の時間を選択すると、その時間内にデータが送られてこない場合は、自動的にプリンタの電源を切るようになります。

4 ［送信］ボタンをクリックします。

5 確認のメッセージが表示されたら［OK］ボタンをクリックします。
以上で自動電源オフの設定は完了します。

●参考

- デフォルトでは、自動電源オフまでの時間が［30分］に設定されています。
- 自動電源オフの設定を解除したい場合は、上記の手順3でチェックボックスをオフ（☐）にしてください。

特殊な設定を行う

［プリンタユーティリティ］ダイアログの特殊設定機能では、インク残量がなくなったときの警告を表示させるように設定できます（デフォルト＝オフ）。

■インク残量警告を表示させる

1 用紙設定ダイアログを開きます。
一般的には、［ファイル］メニューから［用紙設定...］を選択すると開きます。

2 ［ユーティリティ］ボタンをクリックします。

3 ［特殊設定］を選択し、［インク残量警告］のチェックボックスをクリックしてオン（☑）にします。



4 ［送信］ボタンをクリックします。

5 確認のメッセージが表示されたら［OK］ボタンをクリックします。

●参考

- ［バックグラウンドプリント］がオンの状態のとき、［インク残量警告］がオン（☑）に設定されていると、BJプリントモニタにインク残量を警告するアイコンやメッセージが表示されます。

バックグラウンド印刷について　P.30
インクが残り少なくなったときの表示　P.32

- ［バックグラウンドプリント］がオフの状態のときは、印刷の進行を示すダイアログにインク残量を警告するアイコンが表示されます。

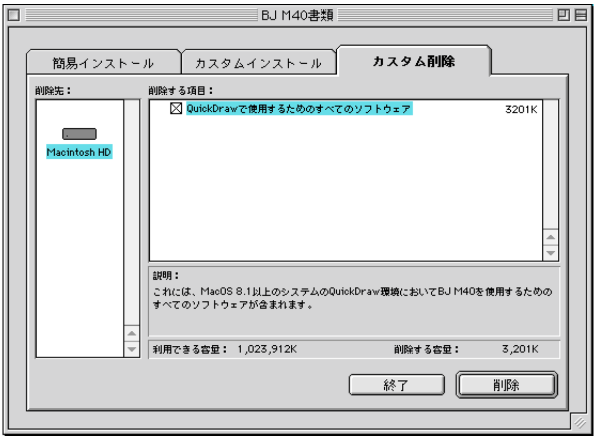
不要になったプリンタドライバを削除する

プリンタドライバが不要になったときは､カスタム削除で､プリンタドライバ関連のソフトウェアをまとめて削除することができます。
また、使用している環境に不要なソフトウェアだけを選んで削除することもできます。

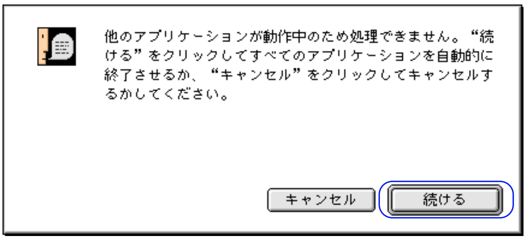
■プリンタドライバを削除する

インストーラを起動して、［BJ M40書類］を開き、カスタム削除を実行します。

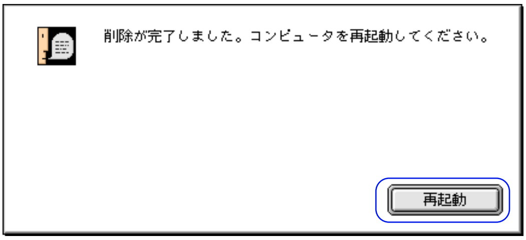
1 動作中のアプリケーションソフトで、保存していない書類がある場合は、あらかじめ保存しておいてください。
2 MacintoshにCD-ROMをセットします。
3 ［CANON_BJ］フォルダを開き、［プリンタドライバ］フォルダを開きます。
4 ［インストーラ］アイコンをダブルクリックします。
5 使用許諾契約書が表示されたら、［同意する］ボタンをクリックします。
6 ［カスタム削除］タブをクリックします。
7 ［削除する項目］のチェックボックスをクリックしてオン（ ☒ ）にします。



8 ［削除］ボタンをクリックします。
9 次のようなメッセージが表示された場合は、［続ける］ボタンをクリックします。



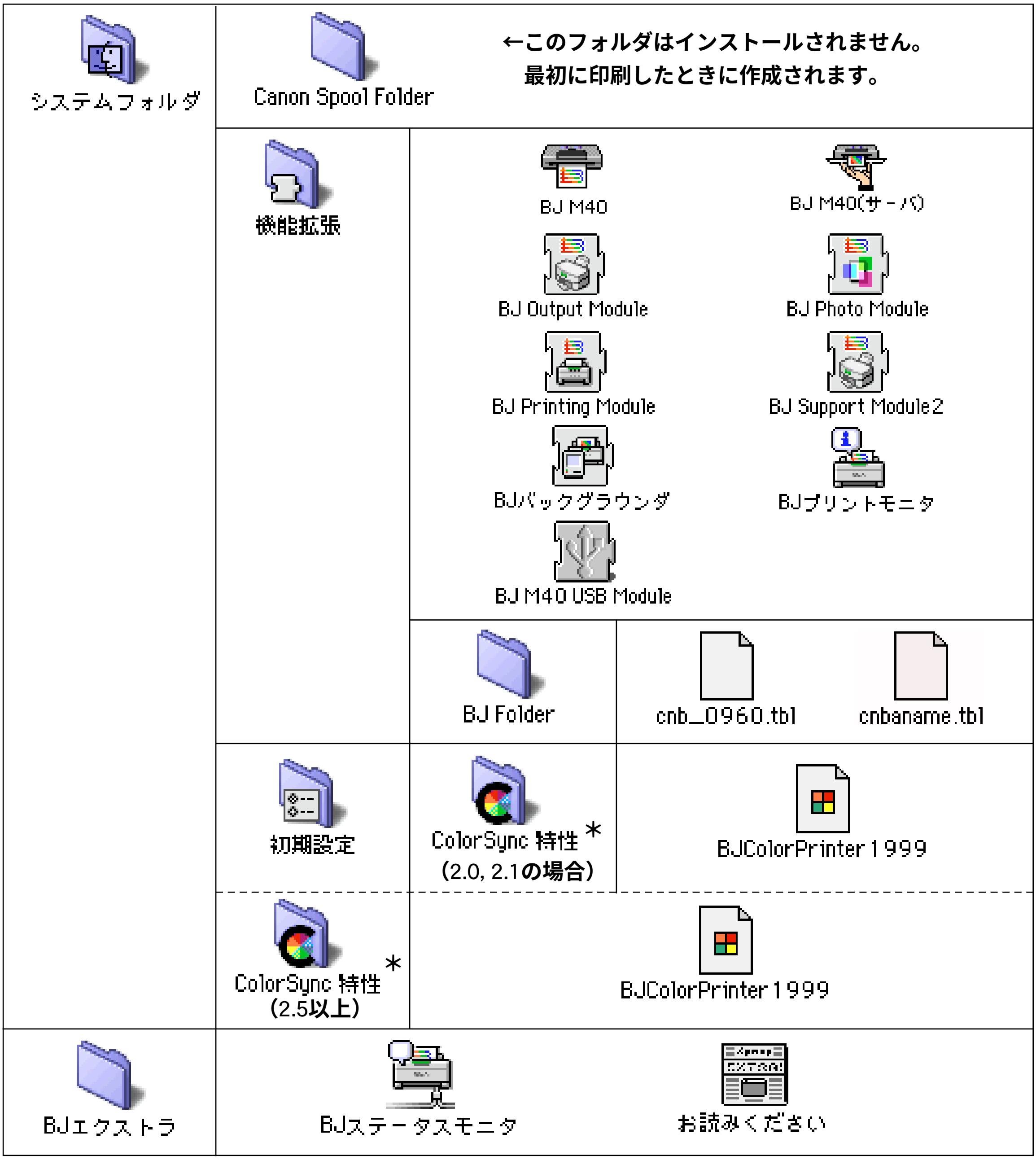
10 次のようなメッセージが表示されたら、［再起動］ボタンをクリックします。
コンピュータが再起動します。



以上でプリンタドライバの削除は完了です。

インストールされるプリンタドライバ関連ファイル

BJ M40シリーズ用プリンタドライバをインストールすると、それぞれの場所に次のフォルダおよびファイルがインストールされます。



＊ Mac OS9の場合は、ColorSyncプロファイルとなります。